

事業者向け

Gripキッズ 両国緑校放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	改善案・対応について
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4		適切かは何とも言えないが、工夫はされている。学習や療育の内容によって机の配置を工夫している。	既定のスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	6	1	他校舎と連携し人員配置の調整を行っている。安全に配慮しながら、配置人数のみではなく、療育の質の向上を目指している。	シフト組みの期間を早めたことにより、ヘルプ調整をしやすいです。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	1	バリアフリーを必要とする利用者がいないが、段差をなくすなどしていく。工夫はされているが、改善点はあると思う。段差はない。	目立った段差はないが、マットの溝などはあるため、今後段差をなくすことを検討します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	6	3		日々の話し合いやミーティングなどスタッフ間で多く行っているため、これからもレベルアップしていきたい。情報の共有や振り返りが全職員間で出来ている。	支援に参加するスタッフ全員で、毎朝ミーティングを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2		保護者のかたの意向を把握している。LINEなどのICTを利用したやり取りもある。	日々の出来事を引き渡し時や、連絡帳を通して伝える。長期休暇中の利用時間を聞く等、アンケートの実施も行う。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	3		パート職員に対しても外部研修を受講する機会を与えてもらっている。定期的実施できている。	定期的に、送迎時の対応等具体的なトピックで研修を行う。外部研修においては常に案内を職員間で共有しています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			できている。そのためのパート職員含め広く情報を収集している。	出勤したすべての職員にケース記録の記入の時間を設け、様々な視点から作成を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4		アセスメントシートなどよく作られている。毎週プログラムを変更、改善している。	標準化したアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		パートにも広く話を聞いてくれている。	社員全員で毎週のプログラムを開発し、支援の目的を明確に設定しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			工夫をするための情報も収集している。	週替わりで新しいプログラムに取り組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3		個々の支援に細かく取り組んでいる。長期休暇中はより楽しく学べるものを設定している。	長期休暇中の宿題の対策を行う。祝日はお出かけや調理等、特別なプログラムを設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		全ての児童生徒に合わせることは難しいが、状況に可能な限り対応している。	集団活動、個別の活動、学習の3つの柱から、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎日ミーティングで確認を行っている。	ひとりひとりの対応や保護者とのやり取りの状況、学習状況やプログラムの内容、送迎ルートの確認を、毎朝行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3		療育終了後、職員間での情報共有やケース記録の記入などを行っています。	支援後はケース記録の記入を行う。毎回支援後のミーティングを行うことは難しいが、必要に応じて行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			毎日ケース記録に記述している。	出勤したすべての職員にケース記録の記入の時間を設けています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		されていると思います。	希望の保護者に対し、早めにお迎えに来てもらうなどして、モニタリングの時間を設ける。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	3		行っていると思います。	ガイドラインに沿った支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6	2			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			職員一人ひとりが丁寧に対応している。送迎時や保護者の方が来所されたときにも心がけている。	公式ラインを活用し、支援前日に必ず送迎の確認を行っています。また利用希望カレンダーを作成し、前もって下校時間やお迎え場所の確認を行っている。トラブルの際は必ず職員間で連携を行い対応しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		医療的ケアを必要とする利用者がいない。	現状医療的ケアを必要とする利用者のかたは現在いらっしゃいません。

関係機関や保護者との連携	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		ファイル等でも情報が視覚化されている。	引き続き、関係機関との連携に努めて参ります。	
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4		まだ卒業生を輩出していない。	該当利用者が、まだおりません。	
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		定期的に通っている。	ズームや社内研修を中心に外部研修にも参加しております。	
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	特に設けていない。 コロナ禍で実施は難しいですが、検討はされている。	コロナ禍で実際の交流はありませんが、状況次第で検討していきます。	
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	4			参加の機会を模索しております。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時含めコミュニケーションが取れている。 LINEや電話、直接顔を合わせた時などに連携を密に行うことを心がけている。	スタッフ間でも情報共有し、本人やご家族様へ寄り添った支援に努めて参ります。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5		面談等で取り入れている場合もあると思う。	個々に応じた対応策と一緒に考えたり、ひとりひとりあった学習方略などを伝えることで、ご家族の負担を軽減出来るよう努めて参ります。	
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			保護者一人ひとりに対して丁寧に行っている。	契約時だけでなく、必要・ご要望に応じて説明して参ります。	
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			ミーティングの場でも面談の内容を共有している。	ご要望に応じて面談や電話、送迎時など相談支援を行っております。	
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	1	開所後すぐにコロナ禍になり、保護者会を設ける機会がない。	密にならないよう少しずつではありますが、親子参加型のイベントもあります。	
	㉞	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2		管理者、児発管を筆頭に対応している。	いただいたご意見や苦情など、職員間で共有、周知することで支援の質の向上に努めています。	
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		集団活動の予定やイベントのお知らせを、紙での案内やLINEなどのICTツールを使って行っている。	集団活動の内容やイベントの告知、ご利用意向調査、学習の進捗などについて定期的に発信しております。	
	㊱	個人情報に十分注意しているか	6	2		注意はしているが、ミスは起こると想定し、減らすための情報共有や、いかに減らしていくかを検討している。	事業所や送迎時などの会話、書類などダブルチェックはしております。	
	㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				職員全員が特性を理解し、個々の児童生徒に一貫した支援に努めております。	
	㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4		町内会の活動のための時間を作る。 招待は難しいが、地域との交流を検討している。	状況により検討して参ります。	
	非常時等の対応	㊴	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	3		少し見えにくい部分があるので、もう少し周知してもいいと思う。	各種マニュアルを作成し、フローチャートなどを教室内に掲示しております。職員のみならず、児童生徒・ご家族様へも説明に努めて参ります。
		㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	3		実施している。他にも様々な想定での訓練があってもいいと思います。	年2回の避難訓練、消防訓練、防犯カメラの設置などを行っております。ハザードマップなど進行中のものもあります。
㊶		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	4		行政からの動画視聴、社内研修、日々のミーティングを通しての確認などを行っている。	事業所内に虐待防止責任者を配置、研修のみならず日々のミーティングでも児童生徒との関わりを指導しています。	
㊷		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	3		保護者との面談などでのコミュニケーションが取れている。	身体拘束マニュアルを作成しております。	
㊸		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3		アレルギーについての聞き取りはしっかりと行っている。	アレルギーについては契約時に必ず確認し、要請に応じた対応をとっています。	
㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1		事業所内で共有されている。	ヒヤリハット報告書は目に留まる場所にあり、記入、閲覧し易くしております。		